

久工大だより

主要記事

1面 表紙

3面 就職活動報告

2面 withコロナのキャンパスライフ

4面 キャンパスニュース

第78号

発行・編集

久工大だより編集委員会

久留米市上津町2228-66

TEL(0942)22-2345(代表)

FAX(0942)21-8770

<https://www.kurume-it.ac.jp>

学長挨拶

本年が皆様にとって実り多い一年となることを祈っています。

第三波とも言われる新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない中、人との接触では三密（密閉、密集、密接）の回避を意識した新しい生活様式の下に新年を迎えることになりました。新型コロナウイルスは、大学教育に、学生生活や学生活動を含めて、さまざまに大きな影響を及ぼしています。保護者の皆様には大変ご心配のことと存じます。しかし、これまで終わりが無かったパンデミックはありません。Withコロナの新常態の中で、学修や学生活動へのダメージを最小限に抑えて、本来の学修成果を上げるべく努めるとともに、来るべきAfterコロナの新生活様式にも適切に対応できるように教職員一丸となって取り組んでいます。感染拡大の虞から、前期の授業ではWebを介した遠隔授業が8割を占めることになりましたが、後期の授業から可能な限りの感染防止対策を講じた上、対面授業を6割に増やしました。学内IR推進センターでは学生の皆さんから



学長
今泉 勝己

「新年にあたって」

アンケート等で意見を聴取・解析し、授業や生活の改善に努めています。

この様な状況のため、令和2年度は例年開催している保護者懇談会を中止せざるを得なかったことから、保護者の皆様のご要望やご心配事にお応えすることができませんでした。遠隔授業についていけるのか？奨学金の仕組みがよく分からない？就職は大丈夫か？等いろいろ危惧なさっておられることと存じます。大学では令和3年2月下旬に電話等で保護者の皆様との個別面談の実施を予定しています。

本年はWith/Afterコロナを見据えた教育環境・学生支援の充実に努めて参りますので、皆様の更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

建学の精神

「人間味豊かな産業人の育成」

教育の基本理念

「知を磨き、情を育み、意を鍛える」

後援会会長

「新年のご挨拶」



後援会会長
三浦 眞吾

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。一昨年、後援会会長に就任して以来、会員の保護者様をはじめ関係者の皆様方には、後援会活動にご理解とご協力をいただき、誠に感謝申し上げます。

本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、新しい生活様式を強いられ、学生においても学業、就職、経済面で大きな不安を抱えていると思えます。

後援会としては、これまで以上に大学と連携を図って、学生たちがコロナ禍において少しでも充実した学校生活を送れるよう、支援して参りたいと思っております。最後になりますが、一日も早い事態の終息を願うとともに皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

withコロナのキャンパスライフ

教育創造工学科 3年

石橋 侑佳

(東海大付属熊本星翔高等学校)

私は、教員になることを目標に、3年次では「模擬授業を頑張ろう!」と思っていました。しかし、3月からコロナの影響で自粛期間にはいり、大学は5月から遠隔での授業が始まりました。授業は、オンライン学習支援ツール「 Moodle」に配信された動画や資料を見ながら行うオンデマンド授業と、Zoomを活用したライブ授業が行われました。毎回の授業で、レポートや小テストなどの課題が出るため忙しいと感じる時もありました。しかし、オンデマンド授業は自分の好きな時間に受ける事ができるため、時間の使い方を考える事で、朝のランニング、授業の読書などやりたい事をする時間を作れて、自分の成長につながったと思います。一方、学校生活からはなれると、アルバイト等が減ったこともあり、経済的に厳しくなりました。しかし、大学からの支援で1万円分のクオカードが配られ、食費にあてる事ができ、とても助かりました。

自粛期間に最も力を入れたことは、授業の研究でした。これまでは、対面での授業をすることしか考えていませんでしたが、オンデマンド授業の必要性が出てきて、どのようにするべきなのかを研究しました。例えば、YouTubeで人気の塾や予備校講師の授業を見ることや、自分で資料を作った動画にまとめることをしてみました。オンライン授業の良い所は、分からなかった授業を繰り返し見

て復習できる点があると思います。自粛期間で、分かりやすい授業を作るための研究をする時間は、有意義なものになりました。

対面授業が行われるようになると、大きな教室で密集しないような工夫がされています。後期になると、下級生の実験授業でサポート役をするようになり、考えさせる立場になり、そのために先生がどのような工夫をしているのかを、自分はどういう工夫をすべきなのかを考えるようになり、前記したオンデマンド授業と対面授業では、工夫すべき点の違い、対面授業では生徒の表情やクラス雰囲気を見ながら授業の理解度を認める事ができます。また、机間指導の重要性にも気づくことができました。授業の研究にも繋げる事ができました。この期間、友人と勉強をしたり、ご飯を食べに行くような機会は減りましたが、自分の成長のために時間を使いたいと思っています。まずは、将来良い教師になるために、勉強や授業研究を継続していきたいです。

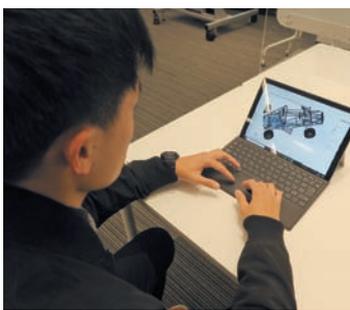


石橋さんの一日 withコロナ期間

6:00	
6:30~	起床
7:00~	ランニング
7:30~	帰宅
8:00	
8:00~	朝食
9:00	
9:00~	授業の予習
10:00	
10:40~	オンデマンド授業
12:00	
12:10~	昼食
13:00	
13:00~	ライブ授業
14:00	
15:00	
16:00	
17:00	
14:40~	授業の指導案作成
18:00	
19:00	
19:00~	夕食・自由時間
20:00	
19:30~	教員採用試験の勉強
21:00	
21:00~	お風呂などの自由時間
22:00	
22:00~	読書
24:00	
24:00~	就寝

伊藤さんの一日 withコロナ期間

7:00	
8:00	
8:30~	起床
9:00	
9:00~	朝食
10:00	
10:30~	配信された講義の動画視聴 レポート作成
12:00	
12:30~	昼食
14:00	
14:00~	学内アルバイト
16:00	
17:00	
17:00~	学生フォーミュラ
20:00	
21:30~	帰宅、風呂
23:00~	点呼(学生寮)
25:30~	就寝



交通機械工学科 3年

伊藤 考史

(浜田高等学校)

私は学生フォーミュラプロジェクトに所属しており、毎年夏に開催される日本大会に向けて、車両の設計や製作に取り組みしていました。しかし、期末試験が終わり、充実した春休みを思い描いた矢先に、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発令されました。緊急事態宣言に伴い、大学から活動自粛の要請があり、製作などの作業はストップしてしまい、毎年夏に行われる大会も中止との報告がありました。その為、部員全員のモチベーションが下がり、雰囲気が悪い時もありました。しかし、活動自粛期間でも自分達にできることはあると気づきました。そして、オンラインミーティングを中心に、1、2回ほど開き、リーダーを中心に、次年度の車両製作の方針や日程調整を行い、全体の日程の遅れを最小限に抑えようと活動に取り組んでいました。後期以降は人数制限や活動場所の分担な

どの制限はありますが、活動再開が認められ、現在も来年の大会に向けた車両製作に取り組んでいます。

令和2年度前期授業は、新型コロナウイルスの影響により5月から開講されました。今までのような対面授業ではなく、初めてのオンライン授業でした。 Moodleを用いたライブ配信形式やオンデマンド形式の遠隔授業は、自分の取り組みたい時間に受講することが出来るという点では融通が利きますが、今までの授業とは勝手が違うため戸惑い、やり方への質問も多くなり、就職活動に向けたメールでのやり取りの仕方を学べるチャンスとも捉える事ができました。

新型コロナウイルスの影響により在宅時間が増えましたが、自分自身で工夫して有意義な時間の使い方ができていると思います。

キャンパスニュース

ルートインBCリーグ ドラフト会議特別合格

11月14日(土)に行われたルートインBCリーグ2020ドラフト会議において、硬式野球部所属の菰原力也さんが特別合格選手として栃木ゴールデンブレーブスから指名を受けました。栃木ゴールデンブレーブスは、去年、西岡剛選手(元ロッテ、阪神、メジャーリーグでプレー)や川崎宗則選手(元ソフトバンク、メジャーリーグなどでプレー)が所属し話題になったプロ野球独立リーグのチームです。



4年 菰原 力也
機械システム工学科
(出身校 祐誠高等学校)
ポジション:三塁手

「久留米工業大学硬式野球部の菰原力也です。この度栃木ゴールデンブレーブスから指名をいただき来季から入団することとなりました。指名をいただいた時はすごく嬉しかったですし、頑張ろうと思いました。チームの中にはプロ野球選手出身の凄いやつがいる中でプレーできる嬉しさもありますが、自分が結果を残さないといけない世界です。硬式野球で培った技術や経験を活かして、目標であるプロ野球選手になれるよう頑張ります。」

硬式野球部「第104回九州地区大学野球選手権大会北部ブロック1部リーグ戦」準備完了！

硬式野球部は、9月5日(土)～10月4日(日)まで5週にわたり開催された「第104回九州地区大学野球選手権大会北部ブロック1部リーグ戦」において、対戦成績を6勝4敗とし準備完了しました。



リーグ優勝は惜しくも逃しましたが、優勝チームに引けを取らぬ見事な戦いぶりを見せてくれました。今大会の経験を糧に今後更に躍進し

北部ブロックリーグ戦個人賞

- ▽敢闘賞 遊撃手 下川夢斗 (交通4年、城北高等学校出身)
- ▽ベストナイン賞 三塁手 菰原力也 (機械4年、祐誠高等学校出身)

令和2年度秋季リーグ戦 2部リーグ優勝！ 1部リーグ昇格へ

令和2年度秋季リーグ戦 2部リーグにおいて、硬式野球部が全勝し、来季の福岡県準硬式野球春季リーグ戦1部リーグ昇格が決定しました。また、5名の選手が個人賞を受賞するなど、最高の結果となりました。



リーグ戦結果 4勝0敗 優勝個人賞

- ▽最優秀選手賞、首位打者、打点王、ベストナイン賞 遊撃手 松岡香輝 (交通3年、駒澤大附属小牧高等学校出身)
- ▽最優秀投手賞、ベストナイン賞 投手 松崎聖聖 (建築4年、宮崎工業高等学校出身)
- ▽ベストナイン賞 一塁手 洲上舜介 (交通2年、沖学園高等学校出身)
- ▽ベストナイン賞 二塁手 境健一朗 (交通4年、都城工業高等学校出身)
- ▽盗塁王、ベストナイン賞 外野手 緒方優樹 (建築3年、中村学園三陽高等学校出身)

航空宇宙研究会結成！

私たち航空宇宙研究会は、飛行機やロケットに興味がある学生が、種子島ロケットコンテスト大会に向けたロケット製作や初等グライダーの製作などを行っています。スカイフェスタという水ロケットを飛ばしてみたり、実際の飛行機に触れてみたり、フライトシミュレーター体



験してもらったりするイベントを開催しています。メンバーの中には英語でアメリカ合衆国の航空宇宙機器開発製造会社のBoeing社から講義を受けるProgramに参加し、英語でプレゼンをしている人もいます。以上の活動を通じて私たちは、日本の航空宇宙を支えるエンジニアを目指して努力していきます。

航空宇宙研究会代表 市川 徹宏 (交通機械工学科 3年)

私にとっての陸上競技



1年 山田 智也
機械システム工学科
(出身校 日田高等学校)

みなさん、こんにちは。陸上部1年の山田智也です。今でこそ胸を張って「陸上部です」と名乗ることができていますが、最初は入部に前向きではありませんでした。そんな私が入部した理由は、新型コロナウイルス感染症による活動自粛が大きく関係しています。ここ半年間、人と会う機会を交換したり、公営の競技場で練習することができなくなり、改めて練習の取り組み方を考えさせられる機会が多く、上手いかならず悩まされることばかりで、一時は陸上への思いが冷めたこともありましたが、今では「今はコロナだから何もできなくても仕方ない」と消極的な発言が口癖となり、何かと言いつつやるようになりました。

新型コロナウイルス感染症による活動自粛が続いたことで、自分を見つめなおす機会が増えました。そこで、周りの環境や状況を言い訳にして、成長することを諦めている自分自身の甘さに気が付きました。甘え切った自分に嫌気が差した私は陸上部で4年間やり抜くことを決心しました。また大会は2つしか出る事ができず、試行錯誤が続く日々ではありますが、成長していることを実感できるのでとても満足しています。今後は、100m走では10秒台、200m走では21秒台、400m走では49秒台のタイムを出せるよう頑張ります。また、陸上部に関わらず大学の部活動全体を盛り上げていきたいと思っています。なかなか一歩を踏み出せない人も私の活動をきっかけにして頂けたら幸いです。

第29回久留米工業大学旗争奪少年野球大会開催！

10月4日(日)、11日(日)、18日(日)、24日(土)の4日間に亘り、久留米工業大学旗争奪少年野球大会が開催されました。この大会は、本学がスポーツの振興と青少年の育成に寄与することを目的に毎年実施し、日本ボート協会九州連盟加盟の17チームが参加しました。



今大会は新型コロナウイルス感染症の影響により例年とは異なる状況ではありましたが、天候にも恵まれ、秋の澄み切った空の下、球児たちのたくさんの素晴らしいプレーが繰り広げられました。主な試合結果は次の通りです。

優勝・筑後リバーズ 準優勝・福岡フエックス 第3位・佐賀ビクトリー

食糧支援実施！

新型コロナウイルス感染症の影響により困っている学生の皆さんに、コロナ学生支援プロジェクトとしてフードバンクくるめくめる様および本学教職員協力の協力のもと、食料等の配布を行いました。



支援物資の配布は11月17日(火)と12月23日(水)の2日間行い、11月の配布では114名、12月の配布では109名に支援することが出来ました。配布した物資は、フードバンクくるめくめから頂いたお米・カレーなどのレトルト食品やインスタント食品・缶詰・お菓子、また食料の他にマスクを配布しました。食料の種類が豊富で学生も満足そうでした。支援物資を重たそうに抱えながらも、とても印象的で胸が温まりました。

新型コロナウイルス感染症の影響はこれからも続くと考えられますので、本学では、今後も学生の支援をおこなっていきます。

学生寮改修工事始まる！

本学の学生寮は第42年が経過し老朽化が進行しているため、令和3年度に大規模改修工事を実施いたします。工事概要としては、内外装ともに一新するとともに、これまで2人部屋であった居室を全て一人部屋に変更し、1F部分には談話スペースや自主学習スペースを設けます。令和3年度の1年間は入寮の受け入れをすることができないため、入寮を希望していた学生の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



◆その他の課外活動結果

- ボウリング同好会 スポガカップ2020 出場
- 陸上競技部 日田市チャレンジ記録会 出場
- 水泳部 第2回日田市チャレンジ記録会 出場
- 水泳部 第1回九州学生秋季公認記録会 出場
- 自動車部 令和2年度全九州学生秋季シムカ大会 第2位
- BM1クラス 第5位 (佐賀清和高等学校出身)
- BM2クラス 第5位 (交通2年 渡邊 健太郎)
- 学生ボランティア団体「輪導」ポレポレ祭 スタッフボランティア 参加